

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

秋 季 号

日本アシュラム

AUTUMN 1985

United Christian Ashrams of Japan

52



日本アシュラム三〇周年記念の主題 「主にある交りの喜び」に寄せて

関東アシュラム委員長 淵 江 淳 一

私の信仰の父ともいふべき金井為一郎先生は、「印度の聖者サンダー・シングの生涯及思想」という名著によって、霊の深みにおいてキリストを受容すべき東洋人の役割を説かれた。戦前私はこの師より受洗後、しばらくして応召満州駐屯中肺炎より結核を発病、戦後も十年間大手術を重ねて闘病生活を続けた。

人間は死に直面すればするほど、いかに生くべきか問題となる。戦後のマルキシズムとキリスト教のブームの中で、科学的真理と信仰的真理を峻別した神学とマルキシズムの科学的偽態に迷わされて、「信仰はキリスト実践はマルクス」という思想が流行した。私は庶民の草の根の団結によって幅広く組合を結成し、遂には国境を超えて世界連邦を目指す賀川豊彦先生のように、信仰はキリスト実践もキリストで行こうと決心した。この賀川先生はプリンストン大学留学当時スタンレー・ジョーンズ博士と同窓であつて太平洋戦争の勃発を防ごうと一所懸命であつた。ジョーンズ博士は最後には極秘裏に日本大使館の意向を受け、ルーズベ

ルト大統領を説得して天皇陛下に親電をうたせたが、故意に遅らされたため陛下の手に届いた時はすでに真珠湾を攻撃中であつた。

このジョーンズ博士は、印度人には印度人のようになつて伝道し「印度途上のキリスト」を著した。私の恩師金井為一郎先生はいち早くこの書を訳出、博士とそのアシュラム運動を日本に紹介した。私は金井先生の校長をしておられた日本聖書神学校に学んだ以前の療養中には、聖書の読み方について内村鑑三並びにその弟子達の著書より教えられるところが多く、殊に小池辰雄先生の聖書講筵において懇切な指導を受けたことを感謝する。

同師の恩師の藤井武先生の論説に、「神の国の真理の苗はギリシャでなぐては育たず、その穂はローマでなぐては延びず、その穀はドイツでなぐては豊かなることが出来なかつたのである。若し福音が最初より東洋に出たならば、恰も発芽の頃に晩秋の降霜を迎ふる如く、必ずや萎縮し或は枯死したであらう。キリスト教が先ず西に廻つた事は神の奇しき撰

理であつて、人類の幸福のためには非そうなくてはならなかつたのである。」とあります。

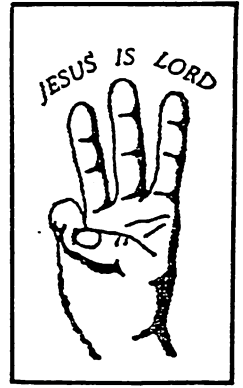
これは日本の思想風土に育つた福音の苗にしてはじめて汎神論的、複雑多面的な印度中国の思想風土の冬に耐えるという意味であらうか。だが今日アジアアフリカにキリスト教徒が急増し、欧米の信徒数と同教となつたというが、依然として日本の基督者数は全人口の1%というのほどのような意味であらうか。

幸い私は小池辰雄先生の「無の神学原論」によって仏教・道教を超える道を示され、また最近在野の古代史研究家によって、天御中主の神は旧約聖書の神と無縁のものでないことが確かめられつつあるので、私共は本居宣長、平田篤胤と共に神道家達に宗教改革を迫り、天皇は大祭司であり世界の主はイエス・キリストであることを証しすべきである。

昨年ウエスレイ神学校のマシウス博士のセミナーを聴講したが、さすがスタンレー博士の娘婿だけあつて、その教説は「教会一致」というより「万教帰一」であつて、アシュラムとは現在最も先端的な東洋の平和運動であることを知り、「イエスは主である」「主よ来り給え」と唱えつ、「主にある交りの喜び」を感謝する次第です。

りであつて常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千60円



主イエスの友
われらの兄弟スタンレー

パウロ・ワグナー

私たちがインドに着いた時、スタンレーは数日前に上海に出かけたあとで、歓迎の置手紙があった。『ここには多くの困難があるだろうが、あなたの中にあるものを叩き出せばよい。米国からの航海は楽しかったろう。鉄道は余り利用しなかつたはずだ。一つ勧告したいことは、しっかりと個人的な祈りの生活を守ることである。何事にも妨げられてはならない。そうすれば生活を意義あらしめる中心を持つことができる』と。彼の生活とメッセージの活力は、実にこのキリスト中心にあった。私たちは一九三六年に米国で、彼のキリスト中心主義について既に聴いていた。彼は初めてインドに行った頃は創世記から黙示録までを読破する競走に心を焦らせていた。その後、彼はキリストを第一とした時、全ての問題が整理されることを発見した

『イエスは主である』

のである。

彼は一九三八年マドラスで開かれた世界宣教会議が人間の思想を問題として、ことに大きな失望を覚えた。そして相対的なフアシズムやコムニズムの台頭する中で、絶対的な神の国を中心とすべきであると主張した。教会が弱いのは神の国を欄外の問題として置かれたのである。主イエスをそれを中心に置かれたのである。

一九四〇年サトタルのアシュラムで私たちは、彼から『主の祈りのクライマックスは、神の国の存在にあること』を指摘された。

私たちが御国を建ててのではない。それを受入れるのである。

私たちが御国を活動させるのではない。それに働いて貰うのである。

神の国は活動中であるから、私たちはその協力者になるのである。神の国は実在する。

x

インドで一時、宣教師の再入国ビザを出さない時があった。スタンレー兄弟は私たちに『大丈夫だよ、一つの扉が閉められたら、他の扉が開かれるものだ』と断言した。事実、その間にアシュラムは急速に世界各国へと展開して行くことになった。その頃スタンレーは日米戦争の勃発を防止するために非常な努力をしていた。彼の死後、蔵書の中にあつた一冊の日本語の本の扉に、駐米

日本大使の挨拶文が記されていた。

『一九四一年にワシントンでの外交交渉中に、われわれに貴重な援助を提供されたスタンレー・ジョーンズ博士に捧ぐ、もし彼の計画が適時に採用されていたら、世界歴史の流れはあつた戦争も冷戦もなく、完全に変わっていたであろう。一九四九年三月一八日 サプロ・クルス(来 栖三郎)』

彼の娘ユニスとその夫ジム・マシユース博士が、彼らの父の伝記を著すなら、そこには必ず、平和の使徒としての彼を画くことであろう。(米国連盟季刊誌より抜粋)

立証

祈りに生かされた私

松沢信広

最近私は偶然に親交のある婦人から、母の証しのつたアシュラム紙を手渡され、今まで母にかけた悲しみが如何許りであったかを思い返すと共に、今の私が得ている恵みの根源を確認させて頂いた。

そして関東アシュラムに初めて参加させて頂き、この恵みの背後に、アシュラムの友の隠された絶大な力のあつたことを肌で感じた。母の私的な祈りは、教会の公的な祈りへと携え上げられ、更に信仰の絆で結ばれたアシュラムの祈りの勇者たちの

中で醸成されて行つた。そして私の母は支えられ、慰められ、確かな望みに生き続けたのではなかったか。

私は入信当時の心境を次のように書き記している。

「咄嗟に私は心に叫んだ。『イエス様、助けて下さい。どうしたらよいのか、私には判りません。生れ変りたいのです。助けて下さい』。私はこの朝、初めて自分の心底から求める本物の祈りをしたように思う。宗教なんて弱い人間の逃げ込む道だ、と言つては母に喰つてかかつていた以前の私はもうそこにはなかった。できるなら「過去」を清算したかった。その事で無我夢中であつた。その時、優しく私の肩を叩き、方向を転換させるように私の歩みを変えて

日本アシュラム三十年の感謝献金を受付中

前号第一面記事の通り、わが国にスタンレー・ジョーンズが初めて「アシュラム」と称する退修会が開始されてから、今年は丁度三十年を迎えました。この間創始者を立て、私たちを導き給うた主イエスに、感謝の心を表わし、後継者マシユース博士を迎えるの記念行事のため、皆様のお金をお寄せ頂きたくお待ちしています。 連盟事務局

アシュラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し
(二) 御言への準拠と立証

好評・再版出来
海老沢宣道著
「アシュラムの原則と実際」
新書判22頁

下さったのは、拭い去る事のできな
い泥海のような私の罪のために、布
切れのように十字架上でポロポロに
なった主イエス様に違いない。涙を
流し、血を流し、最後の一滴までも
注ぎ続けた主の愛が、あの礼拝の中
で私をして『我に返した』ものと固
く信じている。また(わが子に)裏
切られ、苦しめられ、主と同じ様に
身も心もポロポロになりながら、最
後まで神に身を寄せ、神の約束を信
じ、祈り抜いた母のうずくまるよう
な祈りの後の姿であった』。

この文章の通り、私の今日あるの
は母の執り成しの賜であり、アシュ
ラムという祈りの拡がりの中で、神
に聴かれ、答えられたものである。
アシュラムはもう一度この恵みの根
源を鮮かに示し、具体的に神の懐に
ある平安を私に残してくれた。この
交わりこそ、常に私をその原点に引
戻しつつ無限に前進させてくれるも
のと思う。「主は今も生きて働き給
う」と讚美せずにはおれない。

〔注〕本文は本紙前号に紹介した、
松沢ミツ姉の立証「はかり知れぬ恵
み」の中に出ている中三で家出をし
た息子さん自身の筆によるもの。
編集上多少の省略をしたことをお断
りする。同兄は八二年三月東神大を
卒業、今日は八王子の京王駅前で開
拓伝道に励んでおられる。

「主の御名は讃むべきかな」

日本アシュラム

二十年記念アシュラム

四地区の開期迫る

既報の通り創始者ジョーンズ先生
がわが国で初めてアシュラムを開催
されてから、今年は満三十年。その
記念と感謝のアシュラムを企画。米
国連盟からジム・マシューズ博士を
迎える九月十六日(月)、四国を始
めとして九州、関西、関東の順で、
意義深い聖会が守られる。その日が
切迫した。各地とも委員会は勿論、
有志の連鎖祈禱と協力により、備え
は万全。あとは参加者が一人でも多

霊交の歌

主に造られて

山根可弑

あすの日も主に在りてこそ我は
生く己が願ひも主より湧き出で
身も魂も主に造られし者にして
「成れ」と宣たもう 愛の言に
罪の身を十字架の血に潔め給う
主の形成るまで我を育くむ

我こそは塵にひとしき者なれど
新たに生れ 主のものとならむ

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

く、主イエスの御臨在を仰ぐこと
である。

マシューズ師の来日は三度目であ
り、主に在りて更に親交を深め、彼
の信仰と人格を通して、豊かな聖霊
の御働きを受ける好機である。師は
米国連盟の理事長であると共に、国
際アシュラムの委員長として、岳父
スタンレー・ジョーンズの遺志を継
ぎ、世界各国の指導に東奔西走。現
在はウエスレー大学神学部で「世界
キリスト教史」の教授。渕江理事夫
妻は一九八三年に同校で研究された。

▼日本アシュラム三十年記念

○四国アシュラム(第十七回)

九月十六、七日一泊二日

委員長 河野修師(松山山越)

○九州アシュラム(第二〇回)

九月十九、二十日一泊二日

福岡女学院八木山研修寮にて
委員長 川野直人師(田隈)

○関西アシュラム

九月二一、二二日一泊二日

実行委員長 辻中昭一師

○関東アシュラム

九月二三、二五日二泊三日

奥多摩古里、福音の家にて
委員長 渕江淳一師(祖師谷)

価三百円千七〇円
スタンレー博士に親しく指導を
受けた著者がアシュラムの五大
原則と守り方を平易に解説。

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
神の然り B6判 220頁
定価1200円 送料250円
〈キリストに明け渡した人生〉
海老沢宣道 訳
日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後
卒中に倒れた病中口述された万人への遺言、
宇宙人生の真理を探究する者の必読書。
発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟

新刊好評
サトタル・アシュラム指導者
D・P・タイタス著
植村俊雄 訳
「御国を来らせ給え」
神の国に就ての研究
A6判40頁定価二百円千七〇円
スタンレーの後継者インドのタ
イタス師の名著

第6回国際クリスチャン・アシュラム

主 題 ・ 『イエスは万民の主，平和の君』

日 時 ・ 1986年1月22日～26日

会 場 ・ 米国サウス・ジョージア州

セント・シモンズ島エプウォース海岸

合同メソジスト教会退修会場

第六回世界アシュラム大会が上記の如く、四年振り開催される。第五回（一九八二年フィンランド）には日本から二十名が出席した。今回も多数参加して、各国の同志と人種国境を超えて主に在る交わりに入り、互いに恵みの分かち合いをしたい。

プログラムは、米国のマシュー博士、バークナー、ドイツのマッカナダのハンター、日本のマッティス、メイス両婦人、日本の海老沢・大石両師、音楽指導はフロリダアシュラム委員長グフ師が当る。

▼日本代表団員の募集

◎申込、十二月三十一日までに、連盟総務局大石嗣郎師あて。

◎日程、一月22日正午成田発、ニューヨーク・アトランタ・フランス

ウイク着、車で聖シモンズ島へ。23日～26日 国際アシュラム出席

26日(日) ワシントン二泊

28日(火) ファイデルファイア泊

29日(水) ニューヨーク二泊

31日(金) ボストン一泊

1日(土) サンフランシスコ着

2日(日) バインメソジスト教会
で在留邦人アシュラム

3日(月) シスコ発、四日帰国
費用・旅費、宿泊食事、集会費一切で約六十万円

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱生活運動である。

行中の世話もする予定。安心して多数参加されるように望む。

各地ニュース

▼札幌アシュラム(第六回)

十一月三日(日)～四日(月)北海道クリスチャンセンターにて

助言者・中谷哲造牧師

主題聖句・エペソ書三章16節

会費・四〇〇〇円

▼石神井アシュラム(第四回)

十一月四日(月)朝より夕刻まで石神井バプテスト教会にて

(練馬区石神井八―五五―三)

助言者・海老沢宣道牧師

淵江 淳一牧師

聖書・創世記37―50章

会費不要・昼食弁当持参のこと

◎個人消息

ワグナー博士夫妻。本年二月にフィジ島を訪問、三ヶ所で各二泊のアシュラムを指導された。

ドロシー・デビス姉。本年三月に南アフリカ連邦を訪ね、各界の人々と交わりを深めたが、問題の深刻さに、全世界の祈りの必要を訴えている。

土山牧師。去七月ブラハで開催の全キリスト者平和会議の国際書記局員の一人に選挙された。

菊地という牧師、伊藤愛信兄。深谷教会は去五月立派な新会堂の献堂式

を挙行された。

寺井俊健牧師。長く関東地区書記として奉仕されたが、去六月二十九日急性心不全のため永眠、葬送式は聖アンデレ教会で執行。謹悼す。

◎日本アシュラム三十年献金
スタンレーの後継者マシュー博士を迎えて開催の記念行事のため、有志の御献金を待望しています。

日本アシュラム連盟総務局

○感謝録

海老沢宣道師 一万円
大石 嗣郎師 一万円
淵江 淳一師 一万円
合計 三万円

好評・残部僅少

海老沢宣道著 B6判 204頁 価1000円 予200円

主イエスに就ての黙想

著者が五十余年の伝道生活中、主イエスから頂いた恵みを、静聴により証している。読者は必ずや主のみもとに近づくことができるであろう。

発行所・白夢荘 東京都練馬区三原台1-18
振替・東京4-133392

東京都目黒区中央町1-21-10

日本クリスチャン・アシュラム連盟
碑文谷教会気付